

髙本 一臣議員



新型コロナ感染者へのアフターケアについて

新型コロナに感染し、完治判定を受けた後も後遺症に苦 しむ人のアフターケアの対応策をどう講じているのか。



専門職の保健師が体調面の相談 のほか、必要に応じて相談窓口 や専門機関を紹介するなど寄り 添った対応に努めている。



これまでの「庁舎の在り方」協議を振り返って

コロナ禍の中、市庁舎に係る議論再開や新年度予 算経費の上程は考えにくい。これまでを振り返り 市長の見解は。



議会での議論はもとより、専門家、市民の皆様、 各種団体からも幅広くご意見を伺った上で、総合 的に判断したいと考えている。



古川智子議員



水害等に備えて垂直避難できる避難所建設を

水害等からの垂直避難ができる建物が少ない地域には既 存施設の活用だけでなく避難所建設が必要ではないか。



現在、既存公共施設や民間施設の活 用について検討しており、避難施設 の設置については引き続き他都市の 事例調査等を行っていく。





性被害回避や自己肯定力を高める教育を

学校の性に関する教育には医師や助産師の介 入が効果的。教職員が的確に授業展開ができ るための支援策を。



教員を支援するため、指導案集の作成や研修 会の開催を行っている。教材のパッケージに ついても専門家と協力し、作成を検討する。



田上 辰也議員



市電延伸実現に向けた市長の決意は

新型コロナの影響で延期中の市電延伸計画は 今後どうなるのかとの不安の声がある。市長 の決意をお聞きしたい。



市電延伸は将来を見据えた交通体系の構築に 不可欠である。事業の進め方については感染 症の影響や財政状況等を踏まえ判断したい。



秋津浄化センター跡地利用には道路の整備を

新外秋津線が南下して浄化センター跡地を通り嘉島町の 県道と接続する以前の道路計画の実現を今こそ求める。



新たな広域道路ネットワークの検討の 過程において、熊本都市圏南部地域の 渋滞対策として、総合的に検討を行い たい。





おしえて ひごまる

生徒指導の3機能(※3)…文部科学省が生徒指導提要の中で、指導に際し特に留意するよう求めている視点。①児童生徒に自己存在感を 与えること。②共感的な人間関係を育成すること。③自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助すること。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に 行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

●超過勤務増に伴う人件費補正関連について

ストレスチェック等に表れない潜在的なメンタルヘル ス不調者がいると思うので、日頃のコミュニケーション を円滑化し、一人で悩みやストレスを抱え込まないよう、 相談しやすい職場環境づくりに努めてもらいたい。



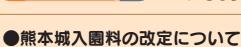
●公文書管理条例の制定について

事業の推進にあたっては、公文書の電子化 やセキュリティ対策等の課題があることから、 円滑な運用に向け、全庁一丸となって取り組 んでもらいたい。

教育市民

●学校給食充実経費について

給食への県産馬肉の提供は、コロナ禍における需要 拡大と地元産品の理解促進を図る有効な取り組みであ ることから、他の農水産物についても積極的に活用し てもらいたい。



令和3年春の特別公開に際し、天守閣復旧後 の熊本城を多くの市民に見てもらえるよう、市 政だよりを活用した無料券の配布を検討しても らいたい。



厚 生

●里親養育包括支援業務について

高い専門性が求められることから、業者 の選定にあたっては、慎重な審査と適切な 業務評価に努め、里親養育の拡充に向け取 り組んでもらいたい。



●児童家庭支援センター運営業務委託について

当該業務は、高度な専門性や技術力を活かした事業の継 続性の担保が重要であるため、児童相談所の職員を増員す る等により、市が直営で運営すべき事業ではないかと指摘

●水道条例の一部改正について

条例施行後は、給水装置工事における利害関係人からの同 意書の提出義務について、市が必要と認める場合に限られる こととなるため、事務を取り扱う職員の認識不足のないよう、 手続の変更について、周知徹底を図ってもらいたい。



●指定管理者の指定について

指定管理者候補者選定委員会について、 委員に占める市職員の選任割合が高い場 合が見受けられるので、透明性確保の観 点からその理由を明確にしてもらいたい。



●農業振興施策の推進について

今後も国や県の補助事業を最大限に活用 しながら、さらなる取り組みを進めてもら いたい。



●指定管理者の指定について

公募に対して応募が一者しかない現状に鑑み、今後の選 定にあたっては、公募期間の延長や管理業務のPRを工夫 するなど、競争性が担保され、複数応募につながるような 取り組みを求めたい。



●市電の女性優先車両の試験運行期間延長を

女性優先車両の試験運行期間を令和3年3月まで延長し、 利用者の意向データをさらに収集するなどして、より効果 が上がるように、十分な調査と検討を行ってもらいたい。



●道路路面の清掃について

清掃が十分行き届いていない箇所が 散見されることから、路肩等の除草も 含め、より丁寧な清掃に取り組んでも らいたい。